

1. 6 レポート・小論文の書き方（国語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

自ら課題を設定し、探求する力を育てるとともに、その成果を文章化するため、構成のあり方や用語の使い方などの具体的な叙述方法も学ぶ。そしてその学習を踏まえ、課題研究として調べた内容をレポート・論文にまとめる。

(2) 研究開発の経緯

4月当初から1年間を通して、1000～1100字程度の評論文を要約するという課題にほぼ隔週で取り組み、主題の設定方法や論理展開の方法を学ぶ。1学期末、3学期末には小論文の執筆をする。また、夏休みに取り組んだ課題研究を2学期末に論文としてまとめる。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は課題設定能力や批判的思考力などの「科学リテラシー」を促すことができる。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH国語総合

対象生徒 普通科1年生徒 8学級

実施場所 本校 各教室

実施内容

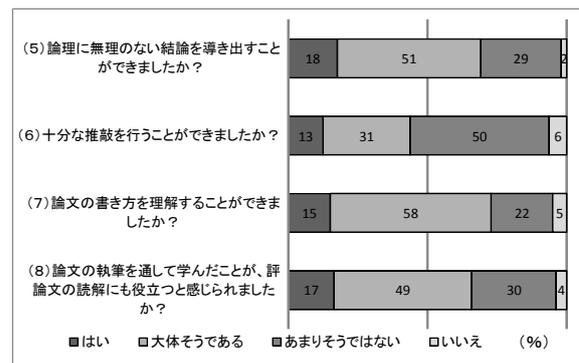
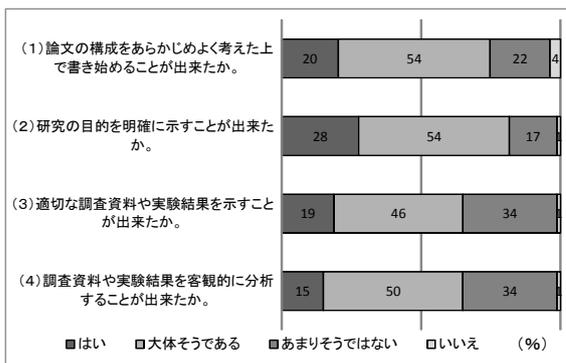
要約

『力をつける現代文』（数研出版）記載の評論文・小説の要約

論文

- | | | |
|-----|---|---------------------------|
| 1学期 | 1 | 原稿用紙の使い方 |
| | 2 | テーマ型小論文を書く①（相互評価・自己評価を含む） |
| 2学期 | 3 | 論文の構成のあり方 |
| | 4 | 課題研究論文執筆 |
| 3学期 | 5 | テーマ型小論文を書く②（相互評価・自己評価を含む） |

ウ 検証（成果と反省）



生徒の感想から

- ・ 普段このような文章を書くことがないので、新鮮だった。
- ・ 論文というと難しい気がしたが、書いてみると自分の興味あることなので意外と楽しかった。
- ・ 調べて深めていくうちに、さらに興味が湧いた。意欲的に取り組むことの大切さを再確認した。

アンケート結果や生徒の感想から、論文執筆を難しく感じる一方で、自分の研究が論文として完成したことに達成感を得た生徒が多かったことがわかる。また書き進めていくうちにさらに研究内容への興味も深まっているようであった。今後は、論文の質をより高めることができるように、推敲にも力を注ぐよう指導していきたい。